平成28年度　セイショー式農法稲作ごよみ（愛知版）

愛知県西尾市吉良町駒場内ノ山23
株式会社 吉良商店
TEL 0563-35-0489
FAX 0563-35-0815

若葉2号　18ℓ　散布

品種　：　コシヒカリ

10a　当り

区分	生育過程	作業	作業期	資材と作業	摘要
土つくり		地力増進	10月　下旬 ｜ 11月　上旬	若葉2号　18ℓ　散布	稲わらの早期分解（夏場の根腐対策） 作床を深くする（夏場の高温対策）
苗つくり	出芽 緑化 硬化	床土準備	2月　中旬		弱酸性土
		種子	2月　中旬	精選籾　3.0kg	
		浸種	2月　中旬	水温　4℃～5℃ 20日～25日　浸水	種子の澱粉がアルファ化となる。根、茎が太くなる性格ができる。
		種子処理	3月　27日	酵母エキス3号300倍液　12時間浸漬	稲の固体を揃える。
		播種	4月　2日	播種量130g／箱（特）キラエース3～4g／箱	薄まきで、ずんぐり苗を作る。
		育苗	育苗　日数 25日	アルファグリーン500倍液 たっぷりと散布	強い稲を作る。（稲の抑制因子を減少させる。即ち免疫力を高める） 緑化初期　たっぷりと散布する。（潅水状態）
稲の体をつくる		基肥 土壌改良	3月　下旬 ｜ 代かき前	吉良有機　10袋（発酵微生物資材） キラグリーンL5号　2袋	炭素・カーボン35%含有資材は、静電気が増えるのを防ぐ。よって、下葉、葉先が枯れにくくなる。 茎がしっかりして倒伏防止（田植え後、葉色が押さえられる） キラグリーンSは炭素、菌による深耕とマイナス電子資材によって暑さに強くなる。
	移植期 最高分げつ期	耕起	4月　15日	作床は深くする。	畦は、深水管理のため高くつくる。
		代かき	4月　25日		
		田植	4月　29日	3.3㎡当り　62株	1株当り、植え付け本数　2～3本
		除草剤散布	5月　5日	◎田植後10日～20日で溝切り 深水管理（田植後　30日～35日）	直根が、土深く伸びる。無効分げつの抑制。
		中干し	6月　5日 ｜ 7月　10日	茎数20本で中干し開始 ◎2日～3日で完全に水を切る。 中干し終了	中干しは早期に徹底して行う。根腐防止。窒素固定を促す。 1cmのひび割れが出来たら水を入れる。 無効分げつの抑制。
穂をつくる	幼穂形成期	稔実向上	7月　10日 ｜ 7月　20日	若葉1号（夏用）10a　500倍液　100ℓ　散布 出穂　20日～直前に　2回　散布	穂、粒の充実を高める。葉茎を強くする。 植物遺伝子（2倍体）の変化の片寄りを防ぐことにより、環境適応および固体能力を最大限発揮させる。 マイナス電子資材により暑さに強くなる。 カメムシ、ウンカ類、穂イモチの為の予防剤混入。
	出穂 穂揃期		7月　27日	浅水　管理	出穂前後は、水管理に注意する。
米をつくる	成熟期	落水	9月　1日		落水を遅くして登熟歩合を高める。
		刈り取り	9月　5日		穂首の枯れる状態に注意する。（適期収穫に努める。）